

8035

丸窯加律製陶(株)

MARUGAMAKARITSU SEITOUSYO

| | | | |
|------|--------------------|--------|--------------------------------|
| 事業所名 | 丸窯加律製陶(株) | FAX番号 | 0561-82-1143 |
| 代表者名 | 加藤 律也 | Eメール | marugamakaritsu@bird.ocn.ne.jp |
| 所在地 | 〒489-0042 瀬戸市仲切町97 | ホームページ | |
| 連絡先 | 0561-82-4384 | 部会名 | 工業品部会 |

陶祖加藤 藤四郎景正の子孫として、鎌倉期より丸窯を使用した大型陶器の製造を生業とし、戦時中より(有)丸窯製陶所第二工場として理化学用磁器、電磁器(碍子)の製造をしていました、

昭和37年に分離独立し現在名に改称し、従来からの製品と合わせ衛生陶器、歯科医療機器用陶器、ファインセラミックス(アルミナ磁器)にも着手して来、現在に至っています。

現在は碍子部門、衛生陶器部門(含歯科医療時陶器)、理化学製品部門の3部門で構成しています。

生産の主力は流し込み(鑄込み)技術を生かした碍子部門で、約70%を占めています。

衛生陶器部門は約20%で、数年前までは、歯科医療機器用スピットンも陶器製品が主流でしたが、最近では色相等からガラス製品も増えるようになり、当社もガラス製品に対抗するため、陶器で色物製品を展開するとともに、最近では手洗い等インテリア製品を開発しています。

また、理化学製品では当社が誇る固有技術で、大きいサイズとしては直径800mm、高さが1200mmの物まで作ることができます。

特にロートは薬品を均一に濾過するための製品で、高い精度が要求されます。この理化学用大型、高精度の製品を作れるのは、市内では数少ない1社であると思っています。

今後も陶磁器製造メーカーとして、碍子は高品質な製品を電力会社へ、理化学製品は固有技術を活用して、他社では出来ない製品を、衛生陶器の分野は薄くて強く、色相も含めた清潔感のある製品が要求されますので、時代の要求にあった製品作りをしていかなければと考えています。



手洗い鉢



手洗い鉢



ガーデニング用シンク



歯科用スピットン



ポットミルク



ロート



乳鉢



化学用バルブ



碍子

日用品
インテリア
キッチン

陶磁器
電器用
工業用品
理化学・
タイル
セラミックス

その他

日用品
インテリア
キッチン

陶磁器
電器用
工業用品
理化学・
タイル
セラミックス

その他